

【重要】アレックスビー筋注用は母子免疫を目的として使用することはできません

組換えRSウイルスワクチン
アレックスビー筋注用の間違い接種防止のお願い
～妊婦への誤接種防止のための注意喚起～

グラクソ・スミスクライン株式会社

医療従事者のみなさまへ

弊社では、アレックスビー筋注用が誤って母子免疫を目的として妊婦に接種された事例に関する情報を入手しております。

アレックスビー筋注用は、**母子免疫による新生児及び乳児におけるRSウイルス感染症の予防を目的とした適応を有しておりません。**

アレックスビー筋注用を、母子免疫を目的として使用しないようご注意ください。

RSウイルス感染症に対する母子免疫ワクチンとして、組換えRSウイルスワクチンの「アプリスボ筋注用（ファイザー社）」があります（2026年5月時点）。組換えRSウイルスワクチンの「アレックスビー筋注用（GSK社）」は母子免疫ワクチンとしては用いることができません。*

※出典：厚生労働省ホームページ（予防接種・ワクチン情報）

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/yobou-sesshu/

自治体が発行するRSウイルス母子免疫ワクチン定期接種の予診票は、アレックスビー筋注用には使用できません。母子免疫を目的として妊婦へ接種される場合は、製品名及び接種対象を必ず確認の上、母子免疫の適応を有するRSウイルスワクチン（アプリスボ筋注用）を使用してください。

電子添文より抜粋

4. 効能又は効果

RSウイルスによる感染症の予防

6. 用法及び用量

抗原製剤を専用溶解用液全量で溶解し、60歳以上の者又は50歳以上のRSウイルスによる感染症が重症化するリスクが高いと考えられる者に1回0.5mLを筋肉内に接種する。

15. その他の注意

15.1 臨床使用に基づく情報

妊婦を対象とした本剤と同じ有効成分を含むワクチン（アジュバント無添加）の臨床試験において、ワクチン群（3557例）ではプラセボ群（1771例）に比べて早産の増加が認められている。

本剤の最新の電子添文等は、専用アプリ「添文ナビ」より、

GS1バーコードを読み取りの上、ご参照ください。



(01)14987246790014

独立行政法人医薬品医療機器総合機構のウェブサイト（適正使用等に関するお知らせ）

<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/calling-attention/properly-use-alert/0004.html>

問い合わせ先

アレックスビーに関するお問い合わせは、以下の連絡先までご連絡ください。

<https://jp.gsk.com/ja-jp/contact-us/healthcare/>

2026年5月